

平成27年度青葉小だより

第4号

★青葉小学校の目標!

ときをまもり・ばをきよめ・れいをただす
時を守り・場を清め・礼を正す

北九州市若松区青葉台西3-1-1
北九州市立青葉小学校 Tel 741-5511
H. 27. 5. 28 文責 校長 田中 理章

本当に素晴らしい運動会でした! 感動をありがとう!!

5月24日(日)に平成27年度の春季大運動会を実施しました。児童の願いが通じたかのように、心配していた天気も朝から良くなり、午後からは素晴らしい青空の下、子どもたちの元気な笑顔が溢れる運動会でした。保護者の方々の応援態度も素晴らしく、子どもたちは伸び伸びと力一杯演技に集中することができました。

1年生は、小学校生活で初めての運動会でしたが、みんなで力を合わせ落ちて着いて「玉入れ」や「かけっこ」に挑戦しました。表現運動ではかわいらしい姿で一糸懸命に踊る様子に会場が笑顔になりました。

2年生は、去年の経験からすっかり落ち着き、運動会を楽しんでいる様子が伝わってきました。「おつかい ありさん」では大きな玉を2人で運んでいる様子は、さすがに2年生だと感じさせるものでした。



(1年玉入れ)



(1年ダンス)



(2年おつかいありさん)



(2年ダンス)

3年生は「青葉タイフーン」で、ダイナミックな動きを披露し、立派な中学年になったことをアピールしていました。4年生のダンスは、全体の動きや個々の動きがとても難しかったようですがとてもそろっていて素晴らしいダンスでした。



(3年群舞7-7)



(3学年ダンス)



(4年棒引き)



(4年ダンス)

5年生は、上級生として迎える初めての運動会でしたが、色々な役割を与えられたことに自覚を持ち、一糸懸命に運動会に取り組みました。6年男子と協力して取り組んだ初めての騎馬戦では迫力ある演技を見せてくれました。

6年生は、小学校生活最後の運動会でした。それぞれの役割分担をきちんとこなし、全校児童のために汗を流しながら仕事に取り組んでいる姿に最上級生としての自覚と成長を感じました。「組体操」では一つの作品を完成させていく喜びを感じているようでした。素晴らしい笑顔が印象的な演技でした。

※「感動をありがとう」と全児童に拍手を送りたくなる1日でした。



(圧巻の入場行進)



(6年組体操)



(5年生ダンス)



(応援合戦)

最後に、前日から地域の商業施設に張り紙を貼ったり、朝早くから道路にコーンを並べたりとお手伝いをしてくださったPTAの役員の方々へは感謝の気持ちでいっぱいです。更には開門時にも整然と並び、混乱無く場所取りをしている姿や後片付けの時には進んでお手伝いして下さる保護者の皆様方の姿を見て、青葉小学校校区の教育力の高さを実感した運動会でした。最後になりましたが、近隣住民の皆様方が協力的に本校の運動会を支えてくださったことにも心より感謝申し上げます。青葉小学校校区の全ての皆様方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

リコーダー講習会を実施

しました。

4月30日(木)にリコーダー講習会を実施しました。リコーダー講習会とは3年生から音楽の学習で初めて使うこととなるソプラノリコーダーの正しい持ち方や使い方、更にはリコーダーに興味を持ってもらうことを目的として、講師の先生はプロのリコーダー奏者の方です。リコーダーの種類が多さやそれぞれの音色の美しさに子どもたちは目を丸くして入っていました。3年生の目つきが印象的な講習会でした。

いよいよ運動会の練習が

始まりました！

今週より本格的に運動会の練習が始まりました。1日2時間程度体育館や運動場で汗を流しながらの練習となります。かなりの体力を消耗しますので、早めの就寝を心がけるように声をかけてあげてください。更に、水分補給の重要性から水筒を持たせるようにしてください。衛生面から水筒は毎日新しいお茶を入れてください。また、18日の月曜日の午前中に児童用のテントを設営します。もし、お手伝いが可能な保護者の皆様はご案内プリントの切り取り線以下をご提出くださいますようお願い申し上げます。締め切りは15日までとなります。

安全第一で練習をしていきます。演技の内容についてはお子様からお聞きください。家族の会話が弾むことを願っています。

校長の独り言(母の日に思うこと)

毎年、5月の第2日曜日は「母の日」です。私も毎年のように自分の母親を日帰りで温泉に連れて行ったり、お花をプレゼントしたりしているのですが、世の中には「母の日」が辛いと思っている子どもも多くいます。私も担任時代に子どもに辛い思いをさせたことがあります。5月のある日、初めて担任をしたクラスの子どもたちに「今度の日曜日は母の日だ。日曜日にはお母さんのために家事の手伝いをすることが宿題だ。」と何も考えずに言ってしまったことがあります。「母の日」の翌日に「私、宿題をしていません。だけどお父さんと一緒に食事を作りました。」とあっけらかんと言われました。私は一瞬「ぼかん」としましたが次の瞬間、その子の母親が病気で亡くなっていたことを思い出したのです。何も考えずに宿題を出した私は、まさに教師失格です。その日以来、私にとって母の日は自己反省と母の日を祝うことができることに感謝する日になりました。

